

# 町会活動に関する職員アンケート調査結果

町会加入率の低下が深刻化してきているなか、職員の町会活動への参加状況等を把握するとともに、今後の町会活動のあり方の検討の参考にするため、函館市職員に対し、町会活動に関するアンケートを実施いたしました。

本調査での職員の町会加入率は、67.5%（1,209人）でした。

※グラフ内の「n」は、設問に対する回答者数です。また、グラフ内の割合は、小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100%にならない場合があります。

## 職員アンケート調査の概要

対象者：再任用職員を含む一般職の全職員

（嘱託・臨時職員、教員、病院局の医師を除く）

実施期間：令和元年6月7日～28日

回答者数：1,790人（回答率63.7%）

## I 町会への加入状況

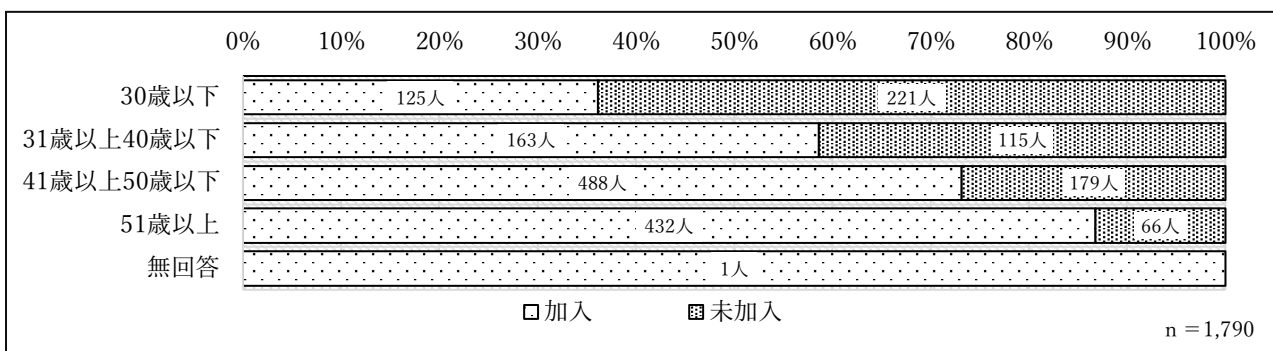
I-1 回答者の属性（年齢、結婚、子ども、同居人の構成、現在地居住年数、居住形態）ごとの町会への加入傾向を調査しました。

### ポイント

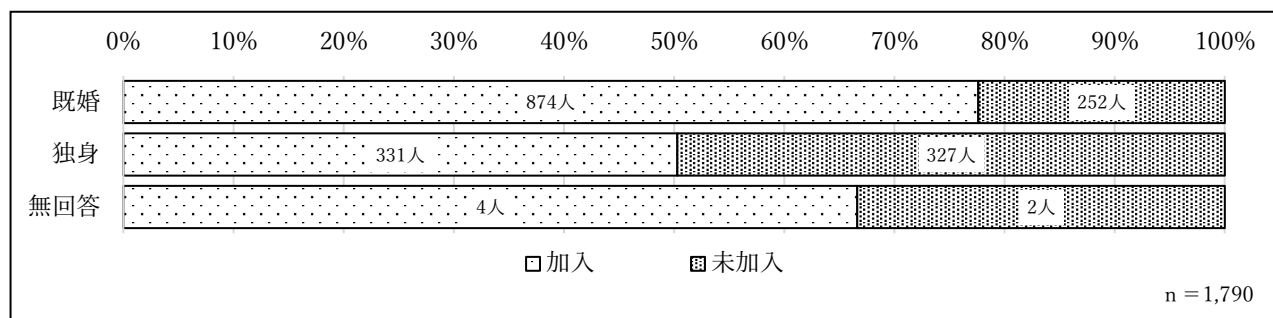
加入率が高い傾向にあるのは、以下のとおりです。

- ① 若年層より高年齢層
- ② 独身より既婚者
- ③ 子どもがいないよりいる世帯
- ④ 単身者より同居人がいる世帯
- ⑤ 短期間より長期間居住している世帯
- ⑥ アパート・マンションより戸建住宅

### ①年齢

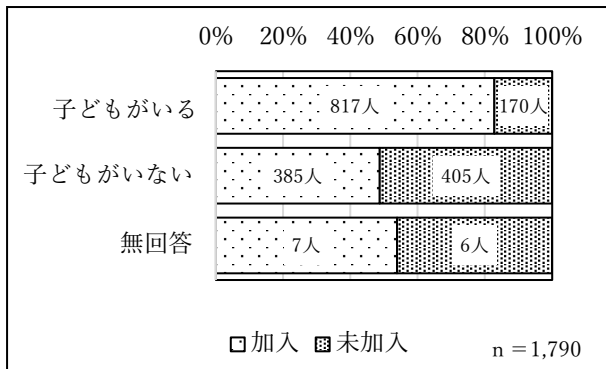


### ②結婚

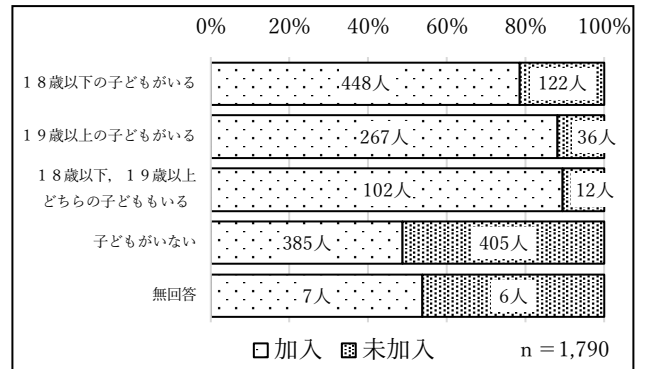


### ③子ども

#### ア) 子どもの有無別

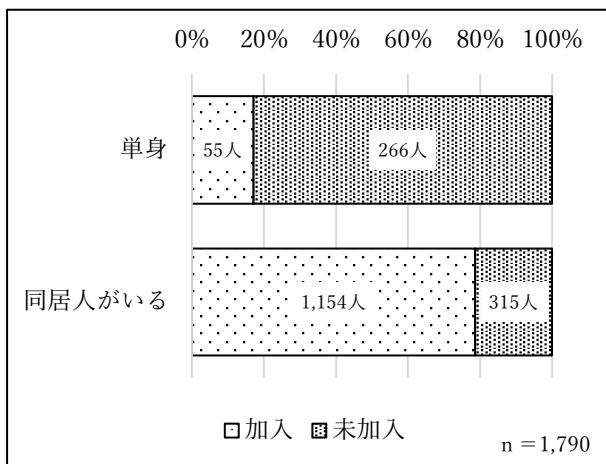


#### イ) 子どもの年齢別

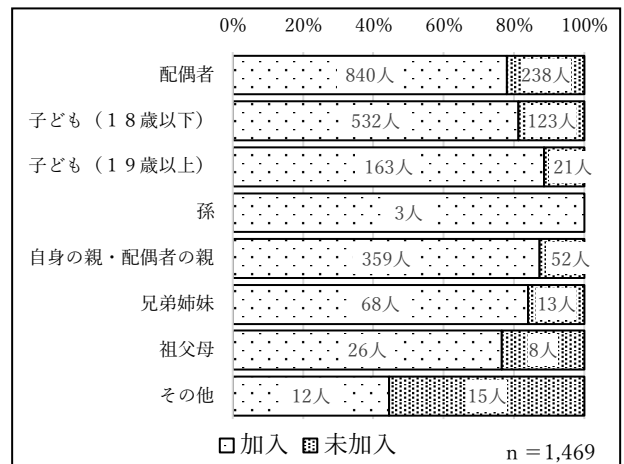


### ④同居人の構成

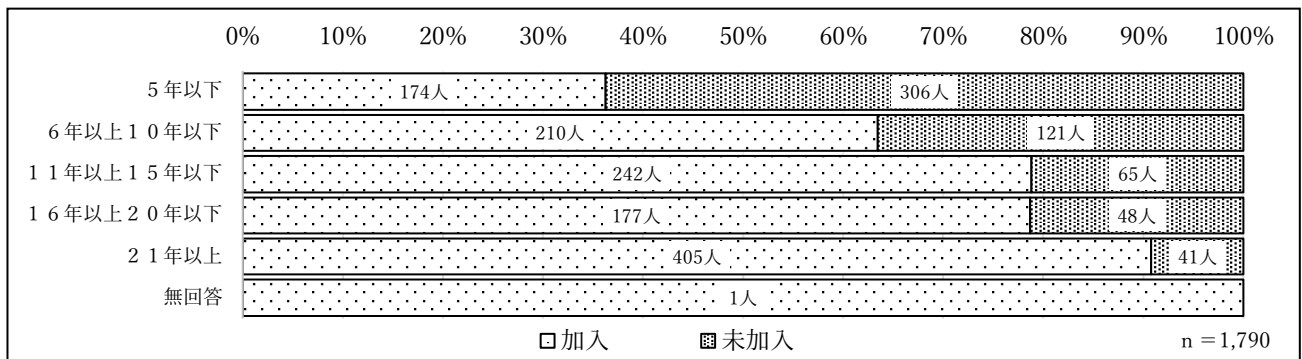
#### ア) 同居人の有無別



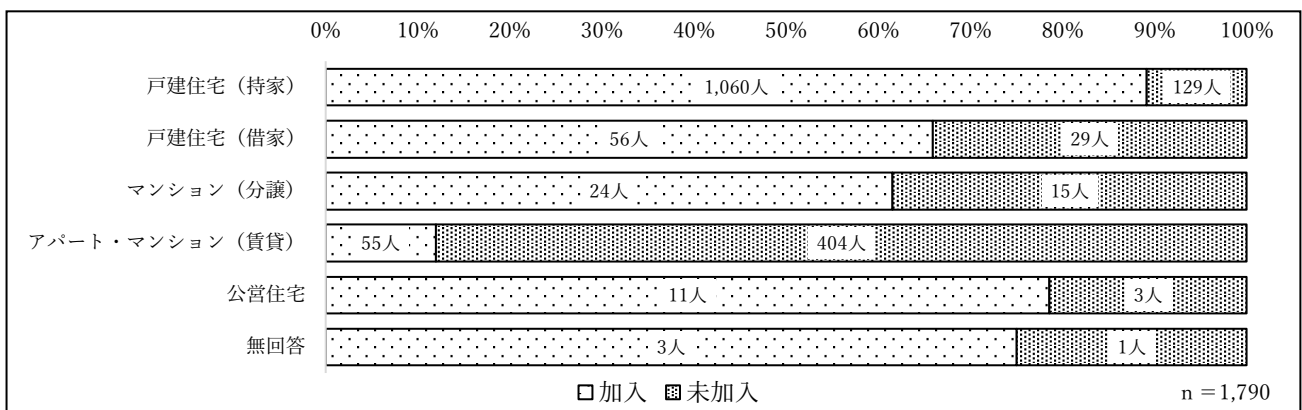
#### イ) 同居人別



### ⑤現在地居住年数



### ⑥居住形態

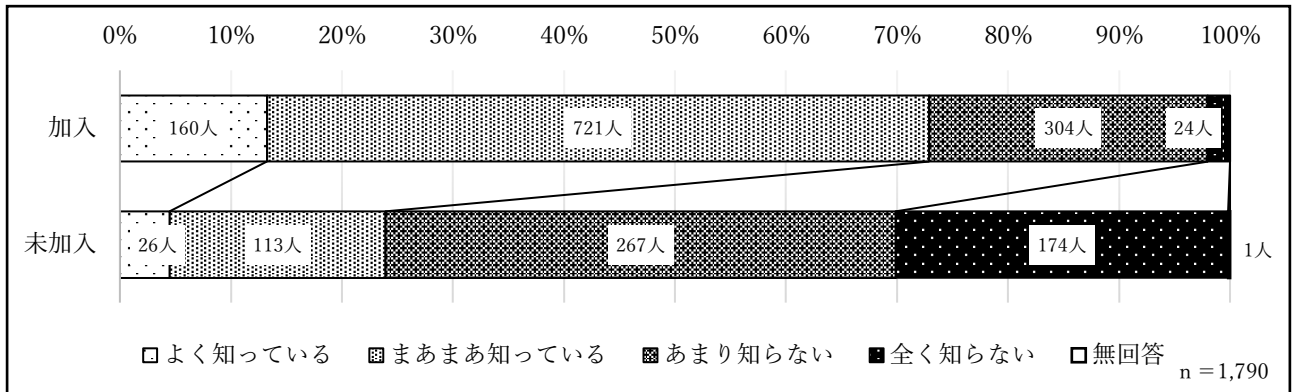


I-2 町会加入者と未加入者を町会についての各項目で比較しました。

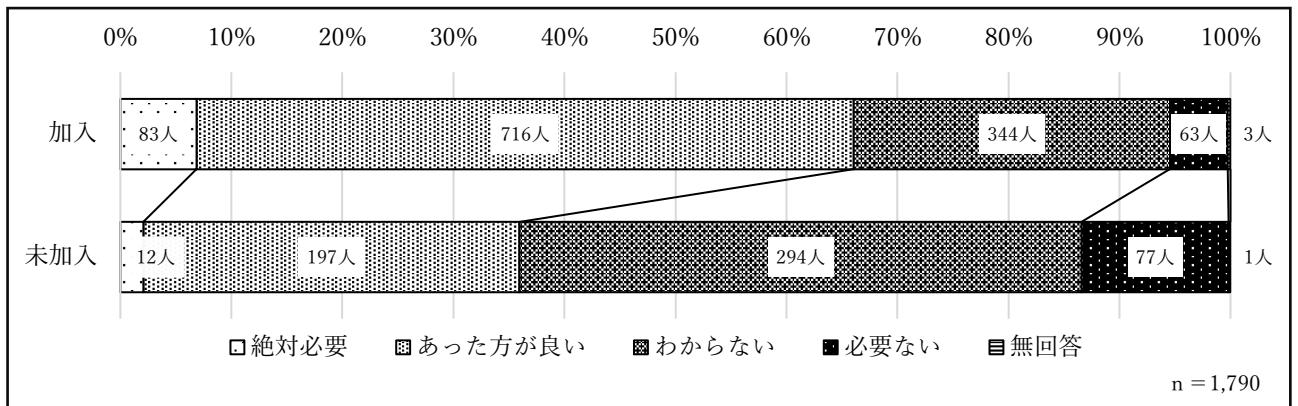
**ポイント**

- 町会加入者は、町会の活動内容を知っており、町会活動があった方が良いと考えていますが、未加入者は、活動内容をあまり知らず、活動が必要かどうかわからない・必要ないと感じている傾向がみられます。
- 町会加入者の60%以上が町会加入の勧誘をされた経験がありますが、未加入者で勧誘された経験があるのは約10%です。

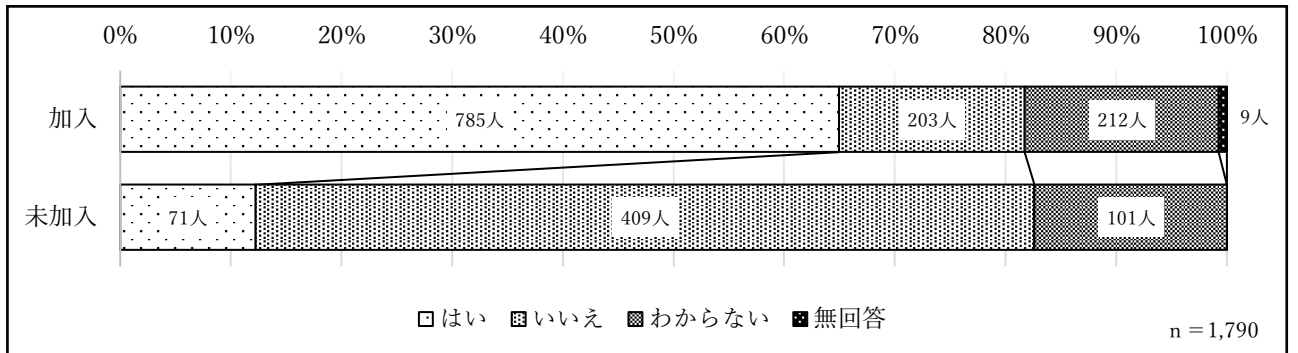
町会がどのような活動を行っているか知っていますか。



町会活動をどのように考えていますか。



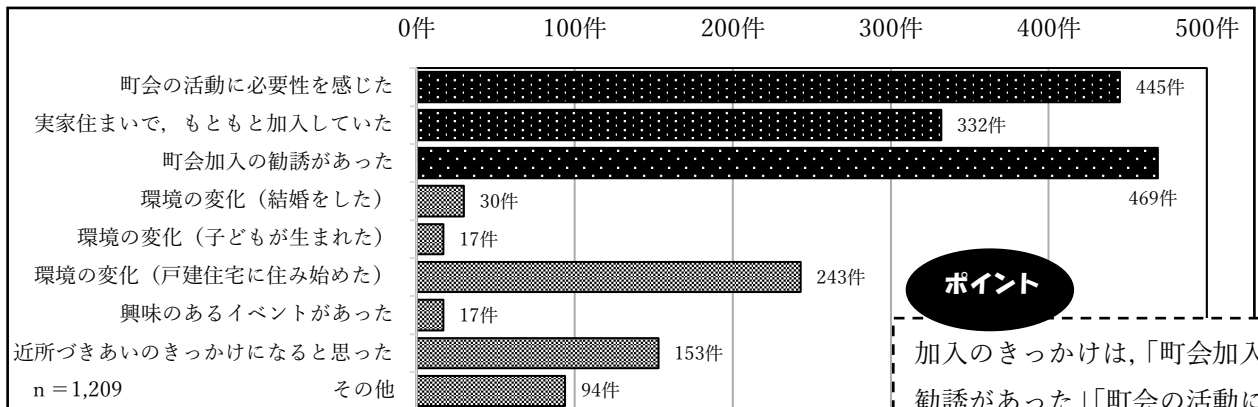
町会加入の勧誘は来ましたか。



## Ⅱ 町会加入者の状況

### Ⅱ-1 町会に加入している方に、加入したきっかけを質問しました。

町会に加入した理由は何ですか。(3項目まで選択可能)



#### ポイント

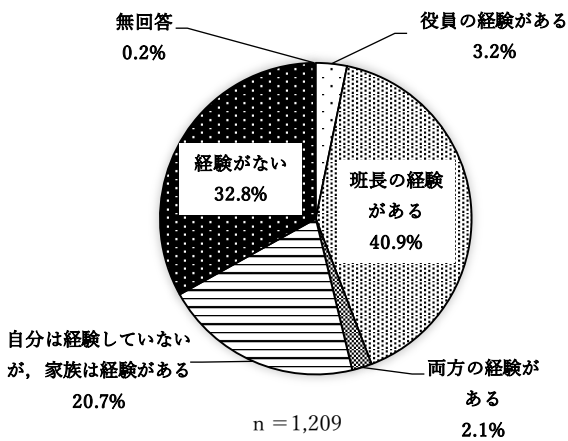
加入のきっかけは、「町会加入の勧誘があった」「町会の活動に必要性を感じた」「実家住まいで、もともと加入していた」の順になっています。

その他の主な意見

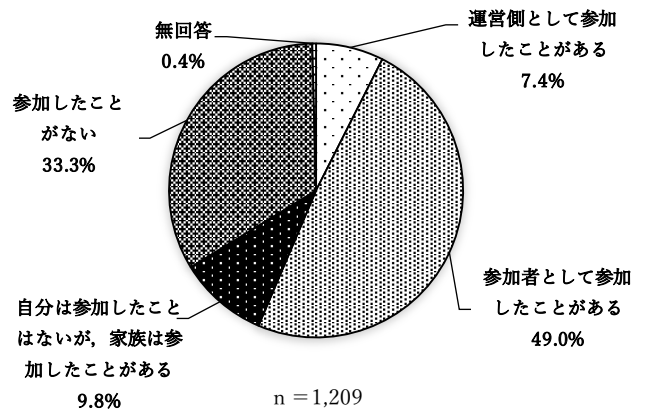
- 賃貸契約や共益費に町会費が含まれている。
- 町会は加入するものだと育ってきた。
- 町会設置の街路灯の効果を受益している。等

### Ⅱ-2 町会に加入している方に、町会活動の経験(役員・班長の経験、行事参加)があるか、また、回覧板についてどう思っているか質問しました。

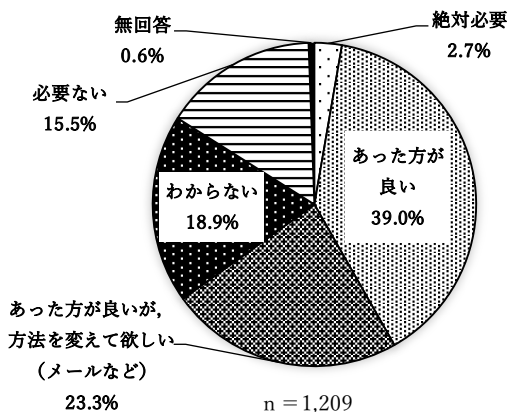
#### 役員・班長の経験がありますか。



#### 町会の行事(まつり等)に参加したことがありますか。



#### 回覧板についてどう思いますか。

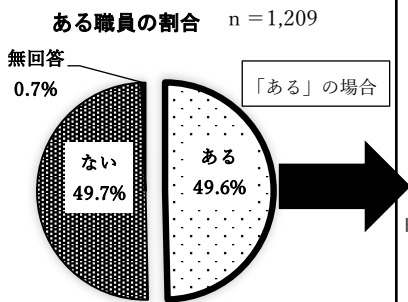


#### ポイント

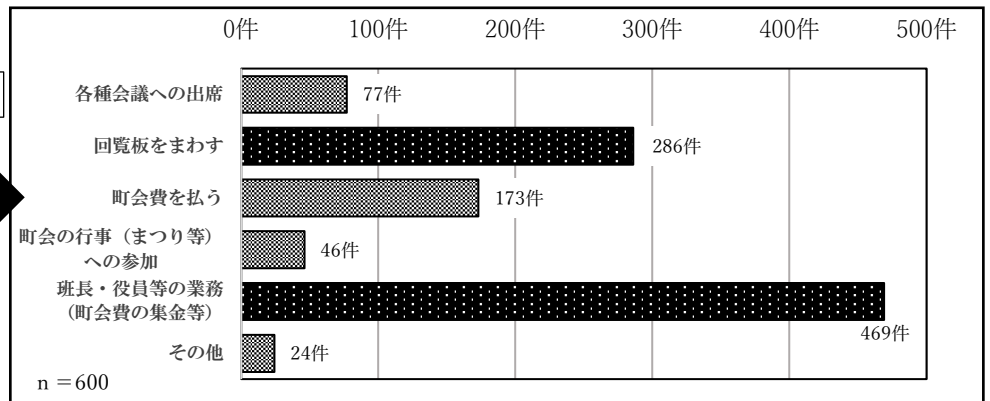
- 加入者の約43%が、班長を経験しており、約5%が役員を経験しています。
- 加入者の約56%が、運営もしくは参加者として町会行事に参加しています。
- 加入者の約65%が、回覧板に肯定的意見をもっています。

## Ⅱ－３ 加入したことにより負担になっていることについて質問しました。

負担になっていることが



何に負担を感じていますか。(3項目まで選択可能)



その他の主な意見

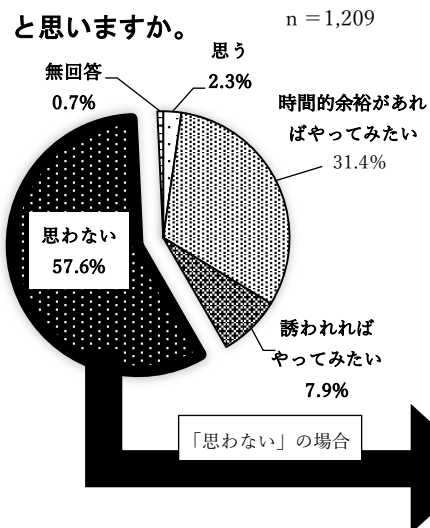
- 役員への勧誘。
- 共働きで平日会費を払うことができないため、振込用紙があればいい。等

### ポイント

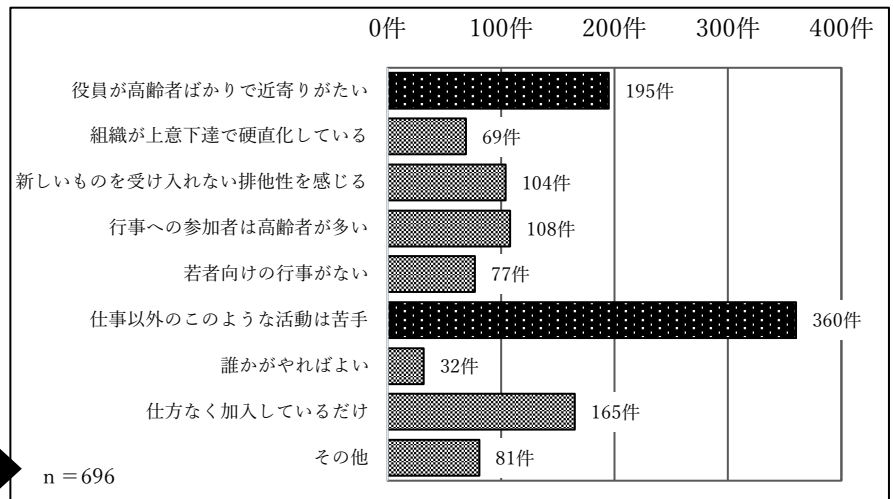
町会に加入したことで、加入者の約半数が負担に感じていることがあり、その理由として「班長・役員等の業務」「回覧板をまわす」が上位を占めています。

## Ⅱ－４ 今後、町会活動に携わってみたいかどうか質問しました。

町会活動に携わってみたい  
と思いますか。



携わってみたいと思わない理由は何ですか。(3項目まで選択可能)



その他の主な意見

- 一度町会に入ると抜け出せなさそう。
- 時間的余裕がない、体力的に困難。等

### ポイント

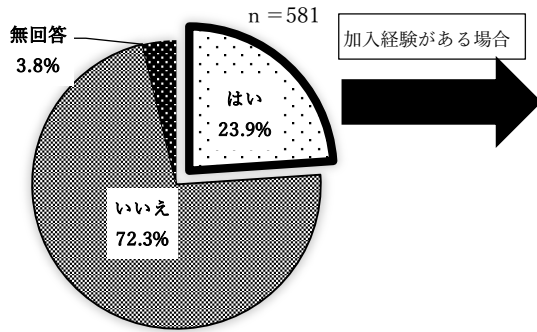
- 加入者の約42%が活動に携わっても良いと考えていますが、一方で、携わりたくないと考えている加入者が半数を超えています。
- 携わりたくない理由として「仕事以外のこのような活動は苦手」「役員が高齢者ばかりで近寄りづらい」が上位を占めています。

Ⅲ

町会未加入者の状況

Ⅲ-1 過去に町会への加入経験があるかどうか、ある場合、どうしてやめたのかを質問しました。

過去に一度でも町会に加入していたことはありますか。

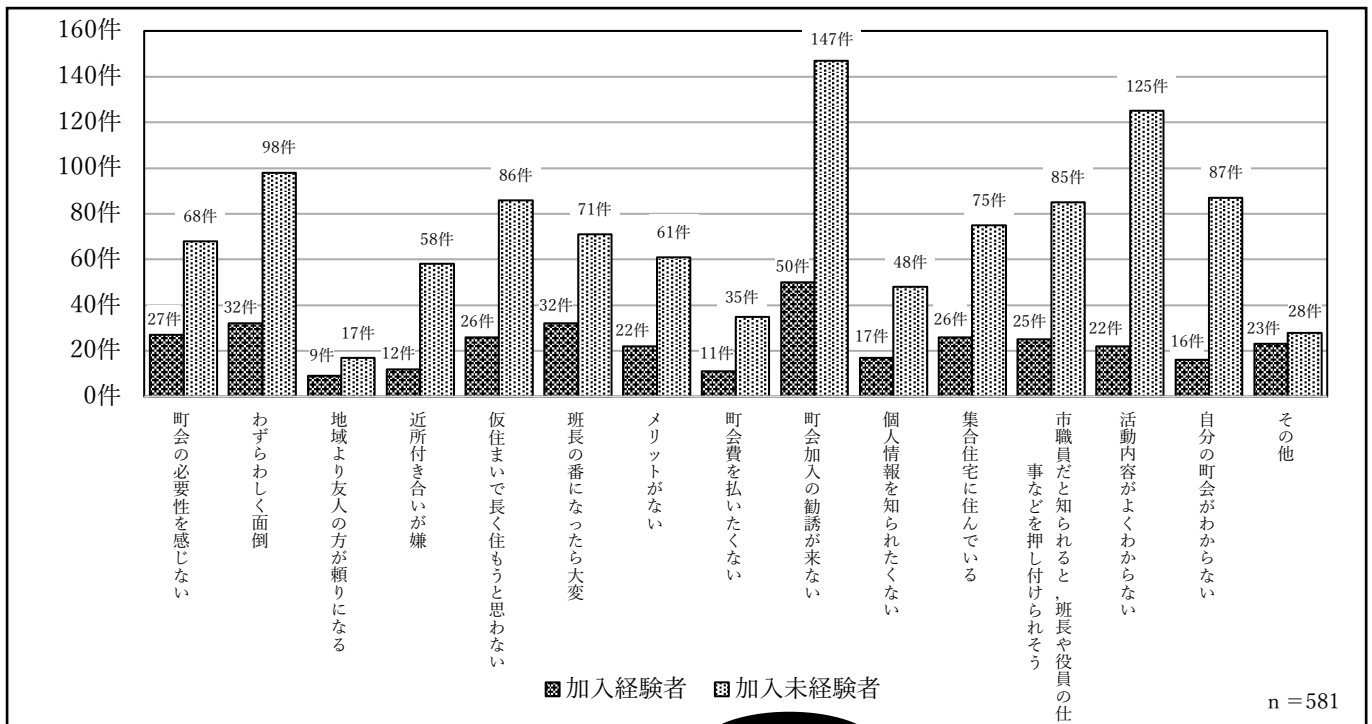


町会をやめた主な理由

- 転居してから勧誘に来ない。
- 活動内容や町会費の使い方がわからない。
- 子どもが小学校を卒業し、参加行事が無くなった。 等

Ⅲ-2 過去に加入の経験がある方とない方の意識を比較しました。

町会に加入しない理由は何ですか。(5項目まで選択可能)



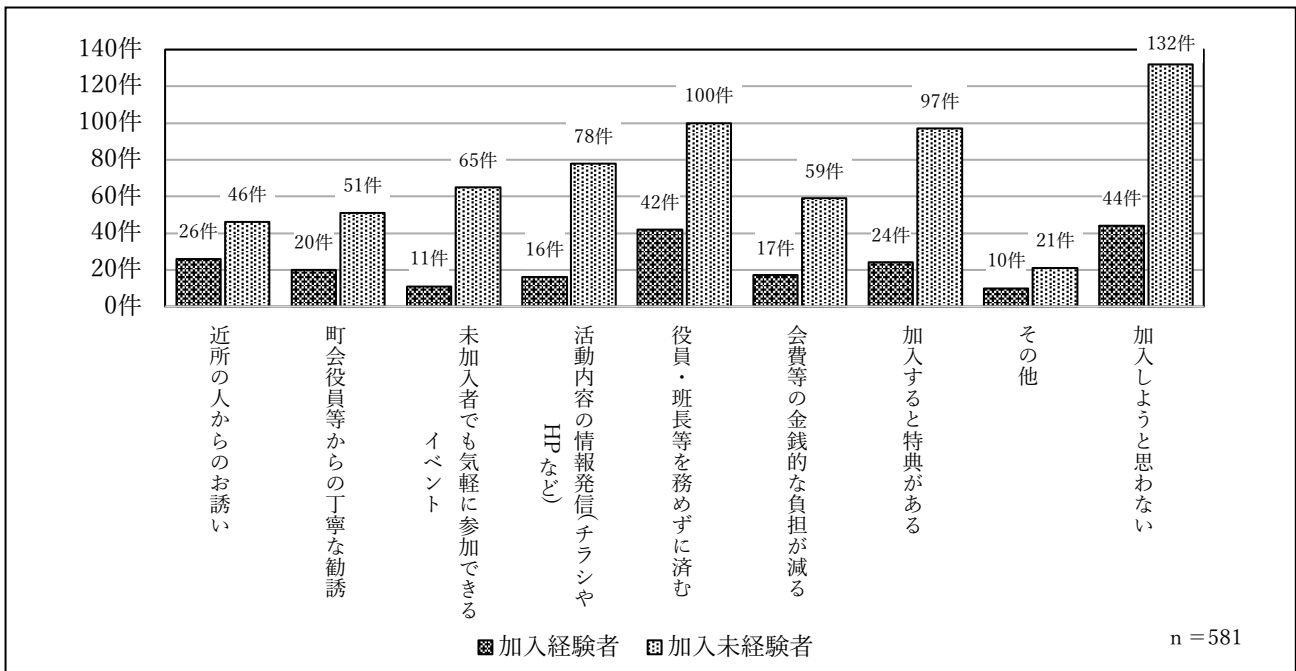
ポイント

- 以前の町会加入経験に関わらず、加入しない理由で1番多いのは「町会加入の勧誘が来ない」です。
- 2番以降は、加入経験者は「わずらわしく面倒」「班長の番になったら大変」が同数で続き、加入未経験者は「活動内容がよくわからない」「わずらわしく面倒」の順になっていて、加入経験の有無により理由が異なっています。

その他の主な意見

- 仕事・子育て・介護等で時間的余裕がない。
- 加入するきっかけがない。
- 町会自体がない。 等

どのようなきっかけや仕組みがあれば、実際に加入してみようと思いますか。(5項目まで選択可能)



その他の主な意見

- 加入しても、活動や役員などの義務を負わず、会費を納めるのみの制度をつくる。
- 町会会員としての役割や活動内容(どの程度参加・負担があるのか)がわかる。
- 同年代の町会員が多ければ良い。 等

加入しようと思わない主な理由

- 仕事・子育て・介護等で忙しく、時間的余裕がない。
- 未加入の現状でも不都合がない。
- 職業、個人情報を知られたくない。 等

### ポイント

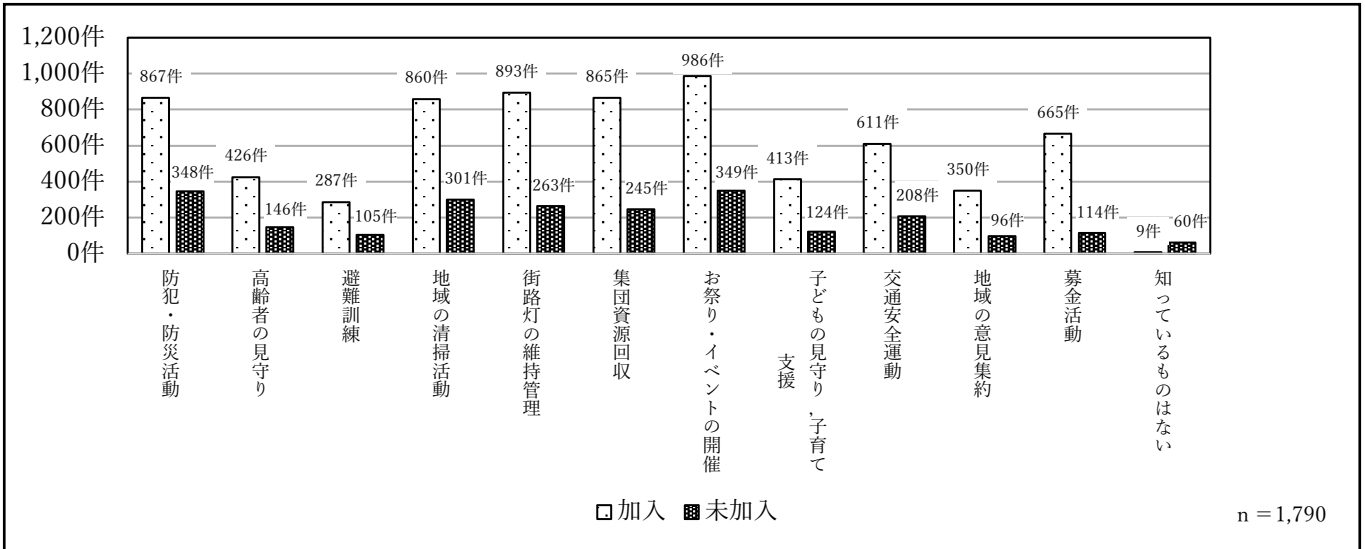
以前の町会加入経験に関わらず、「役員・班長等を務めずに済む」仕組みがあれば、加入しても良いと考えている人が多いです。

IV

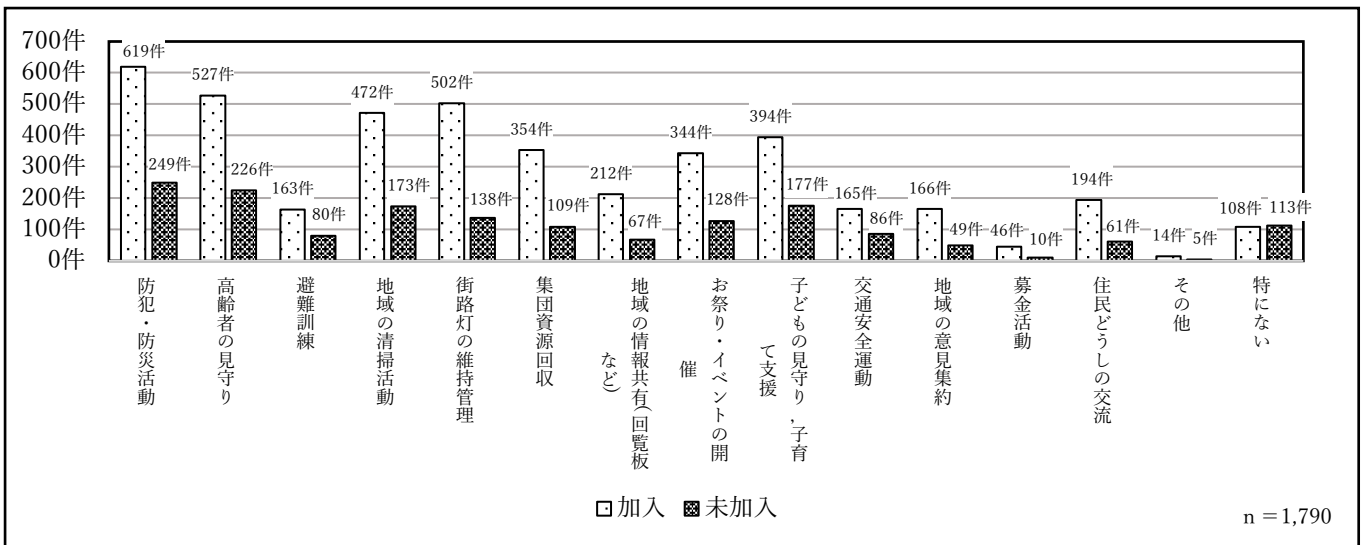
回答者共通の質問

IV-1 町会活動の内容の認知度や需要について質問し、加入者と未加入者の回答の比較をしました。

町会活動だと知っているものを選択してください。(複数項目選択可能)



町会が行った方が良いと思うものは何ですか。(5項目まで選択可能)



その他の主な意見

- 子供会活動
- 地域の魅力を高める活動。住みたくなる町会となれば、活動が活性化する。 等

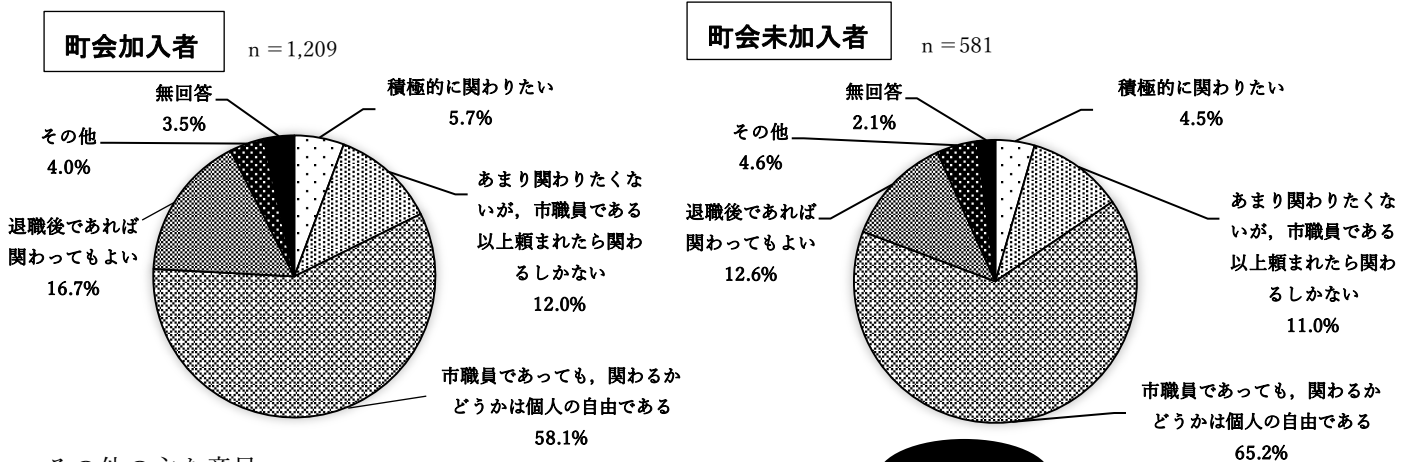
ポイント

- 認知度が最も高い活動は、町会加入者・未加入者ともに「お祭り・イベントの開催」です。
- 町会が行った方が良いと思うものとして、町会加入者・未加入者ともに「防犯・防災活動」「高齢者の見守り」の順になっています。



**Ⅳ－２ 函館市市民部で実施した町会に対するアンケート調査で、町会側から出た意見や、現在町会が抱えている課題に対する考えについて質問しました。**

「市職員に積極的に町会活動に関わって欲しい」という意見についてどう思いますか。



その他の主な意見

- 余裕ができれば関わりたい。
- 市職員＝町会活動に係る制度や事業，地域への知識が豊富とは言えないのではないか。
- 町会からの要望を行うか決定する組織に当該者がいるのは健全な状況とは言えないのでは。等

**ポイント**

町会加入者・未加入者ともに「市職員であっても、関わるかどうかは個人の自由である」と考えている人が半数を超えています。

**町会が抱える課題や悩み（会員の減少、特定の人しか運営・行事に関わらない、役員のなり手不足、会員の高齢化等）の解決策について（主な意見）**

- 可能な役職は輪番制にする。役員に定年制を導入する。
- 現役を引退した方をすぐに役員に勧誘し，少しでも若返りを図る。
- 「なり手不足」といいながら，積極的に声をかけていないような気がする。
- 役員の仕事誰でも行えるようマニュアル化する。
- ワークシェアにより多くの会員で運営を行い，短時間での参加がしやすいようにする。
- 子ども向けの活動を行い，その親も取り込んでいく。
- 働いている世代も参加しやすいように，平日昼間だけではなく，夜間や休日にも会議や活動を行う。
- 小規模町会の合併。複数の町会が合同で行事を開催する。
- 町会活動は，損得ではなく，相互扶助の活動であることを理解してもらう。
- 町会活動は閉鎖的な印象があり，若い人や新規の人は関わらざらぬ感じがするので，そこを払拭できるとよい。
- 地域の学校と連携する（学校のバザーに合わせて行事を開催する，町会の必要性の啓発カリキュラムを授業に組み込む，大学生に地域活性化の課題を模索するフィールドワーク講義をしてもらう等）。
- 町会活動に報酬を出す。
- 公的助成を増やして，運営財源を確保し，町会の活動をバックアップする。
- 連絡，広報，会議や行事への参加にネットを活用する。
- 町会でやるべきことを絞り込む。
- 町会活動の一部を業者に委託する。
- 「会費のみ会員」や「子どものみ会員」など選択肢を増やす。
- 町会活動内容や重要性をもっと周知する。見える化する。
- 集金を振り込みにする。
- 清掃等に参加すれば，区域内のお店の特典がもらえる等のメリットがある。